

子どもとご家族が  
前向きに入院生活を乗り越えられるよう  
お手伝いする専門のスタッフです

# Child Life Specialist ②



前号では、チャイルド・ライフ・  
スペシャリストのたいせつなお仕事、  
子どもが病気と向き合うためのサポート  
について紹介したよ♪  
《なにがおこるかかわからない》ことは  
とても怖いもんね。

## 入院生活を少しでも前向きに 過ごすためにサポート！

### その4. ごきょうだいの支援

ごきょうだい「なんでママいつも病院に行くの？いかないで」という言葉を口にされることはありませんか？ごきょうだいに理解していただけるよう、お手伝いします。

### その5. 遊びの支援

遊びは子どもにとっては日常的なもの。そんな遊びの機会を病院でも欠かさないように遊ぶ時間を提供します。支援は、小さなお子さんだけではなく、AYA 世代（青年期）にも欠かせません。入院中の中・高生は普段学校などで友達と過ごし思春期らしい心理社会的発達を遂げていきます。しかし、入院することで同世代と関わる時間が減ってしまい、思春期らしい成長が妨げられることがあります。また闘病生活自体がストレスとなることが多くあり、学校の休

み時間のようにワイワイガヤガヤと、または静かに語り合う時間が欠かせません。そういった目的で、当センターでは同年代の仲間が集い、ボードゲームやテレビゲームで遊ぶ時間を提供することにも新しく取り組んでいます。

そんな中で、今年も小児病棟で『夏祭り』を開催しました。子どもたちは病棟スタッフと一緒に真っ赤なハッピーを着て、保育士さんがこの日のために用意してくれたチケットを手に、くじ引き、金魚すくい、ヨーヨー釣り、輪投げやサイコロゲームを楽しみました。子どもたちは、ヨーヨー釣りのプールでじゃぶじゃぶと

水をさわったり、

金魚すくいの数を競争したりなど、楽しそうな表情であふれました。

定期的  
に開催しているコンサートや季節のイベントなど、病院生活が少しでも過ごしやすい環境づくりに努めています。

### ★小児病棟夏祭り★



## 住吉母子医療センター情報誌

# きらり

vol.5



## Topics

まだ終わってなかったの!?!

**風疹まだまだ流行中!**

こんな男性は要注意!

## 小児科まめ知識

小学生になる前に  
知っておきたい  
ワクチンの話!

## 母乳育児の神秘

シリーズ④ 母乳育児は  
本能でできるのか?

## 医療機関の皆様へ

### 設置ご協力をお願い

住吉母子医療センター情報誌「きらり」の設置にご協力頂ける医療機関様を募集しております。

貴院への設置にご協力いただける場合、または送付希望部数を変更される場合は、右記QRコードよりメールをご送信いただきますようお願い申し上げます。



✉ Kyuseisogo@opho.jp

医療機関専用

## 当センターホームページにて、 バックナンバーがご覧いただけます♪

当センターホームページトップページの下部にあります「大阪府市共同 住吉母子医療センターについて」のバナーより、ページ下部にあります「広報誌」よりPDFデータご覧いただけます。是非ご利用ください。

●次号は、2020年1月発行を予定しています●

### お問い合わせ

地方独立行政法人 大阪府立病院機構

大阪急性期・総合医療センター

大阪府市共同 住吉母子医療センター

06-6692-1201 (代表) 平日 9:00 ~ 16:30

産科の医師に聞く！



## 風疹まだまだ流行中！



### 1962～1979生まれの男性は**要注意**！

昨年8月より始まった国内での風疹患者の発生は、今年になっても収まっておらず、毎月新たな患者の発生が報告されています。きらりVol.2でもお伝えしましたが、風疹は妊婦さんが感染すると、胎児に感染して先天異常(先天風疹症候群)をひきおこす可能性があります。

妊娠初期の血液検査で妊婦さんが風疹に対する免疫(抵抗力)を持っていないことがわかった場合には、妊娠中は予防接種ができないので、感染しないように気をつけてもらうこと以外対策がありません。社会の皆がワクチンを受けることで、風疹を流行させないことが最も大切です。

来年のオリンピック控え、今後さらに多数の外国人の訪日が見込まれています。ところが、現在アメリカ政府は、日本における風疹の流行状況を考慮して、妊娠中の女性に対して日本への渡航を自粛するように勧告しています。ちょっと恥ずかしいはなしですね。

日本の風疹流行がおさまらない大きな原因は、現在40歳から57歳の男性が、子供のころに予防接種を受けておらず、免疫を持っていない人が多いことです。風疹流行を起こさないカギは、実は男性が握っているのです。

しかし、たとえ自分がかかっても大したことはないと思っている人が多く、なかなか男性は予防接種を受けようとしません。

そこで、1962(昭和37)年4月2日から1979(昭和54)年4月1日生まれの男性は、市区町村から発行される無料クーポン券によって無料で風疹ワクチンの接種が受けられるようになっています。

この機会に、この年代の男性が風疹ワクチンを接種するように、ぜひ身の回りの男性に呼び掛けていただけるようおねがいします。

※風疹ワクチンの無料クーポンについては、各自治体にお問い合わせください。



## 小児科まめ知識

もうすぐ小学生になる  
お子さんの保護者のみなさまへ



## 知っておきたいワクチン情報

来年4月から小学校に入学する子どもさんのために、保護者の方々はいろいろと準備をすることになります。その準備のひとつとして「小学校入学前に接種すべきワクチン」があるのをご存知ですか？

ここからは、子どものカルテである母子手帳を見ながら読んでみてください。

1歳になったときに、MR(麻疹・風疹混合)ワクチン(定期接種)、おたふくかぜワクチン(任意接種)を接種していると思います。これらのワクチンは小学校に入学する前にもう1回ずつ接種する必要があります。なぜなら、1回の接種では不十分なことがあるからです。

しかし、2回接種するとほとんどの人がこれらの病気にかからなくなり、またかかったとしても軽い症状ですむことがわかっています。

それからもうひとつ。2018年から、三種混合ワクチンとポリオワクチンが、小学校入学前にもう1回追加で接種(任意接種)することが勧められています。なぜなら、百日咳とポリオに対する免疫がその頃に低下していることがわかってきたからです。そのため最近小学生～中学生で百日咳にかかる人が増えています。

小学校入学前に母子手帳をもう一度確認し、入学準備のひとつとして、ワクチンの接種忘れがないようにしましょう。



## 母乳育児の神秘

### ④母乳育児は本能でできるのか？

「母乳育児なんて本能でできるんじゃないの?」「母乳育児っておしつける必要があるの?」って思いませんか？

確かに、特別な支援をしなくても母乳育児が順調に進められるお母さんはいらっしゃいます。母乳分泌が良好、母乳育児の経験がある、身内に支援者がいる方なら、そうかもしれません。おおよそ3～4割くらいでしょう。しかしながら6～7割のお母さんは様々な支援を要し、本能だけでできることではないのです。

動物は進化の過程において、不要な(または代替方法のある)本能は退化しているそうです。例えば、私たちのように群れで生きてきた動物は周囲の母親を見て育児を学ぶ機会があったため、母親の授乳行動は本能だけではできなくなっているのです。そして、学ぶ機会が必要なのです。

赤ちゃんをどう抱っこするのか、おっぱいをどのようにくわえさせればいいのか、いつ・何回あげればいいのか、乳管・乳房の経過はどうなっていくのか、乳汁分泌を維持するにはどうすればいいのか…すべて見聞きしないとわからないことばかりです。核家族化、少子化の進んでいる昨今では、赤ちゃんを一度も抱っこしたことのない初産婦さんは珍しくありません。

母乳育児を望むすべてのお母さんとあかちゃんのために、できる限りしっかりと、おっぱいのこと、あかちゃんのことを妊娠中からお母さんにお伝えすることが大切なのです。そして、あかちゃんが生まれたら、スムーズに母乳育児ができるように介助し、時には励まし、時には休息を促し、寄り添って支援していくことは、周産期部門で働くわれわれの役割です。

もちろん、いろいろな事情で、母乳を与えることができない、生まれてすぐにおっぱいを吸わせられないお母さんもいらっしゃいます。その場合でも、綿棒に浸して口腔内に塗布する、搾乳しチューブで投与する、ドナーミルクを利用する等々、その時々でさまざまな方法を模索し、できる限り支援します。また、状況に応じて、母乳哺育以外のいろんな関わりを中心に進めることも大切です。

『母乳の神秘』はまだまだ続きます。母乳の神秘①、②、③と合わせてお読みいただき、さらに母乳の機能や神秘を感じていただければ幸いです。



## インターネット予約ができる！ 生殖医療センターの ホームページができました！

大阪急性期・総合医療センターのレディース病棟内に開設した、不妊治療を行う「生殖医療センター」のホームページが完成しました♪総合病院内にある強みを生かして他科とも連携しながら治療を進めていきます。疾患を抱えておられる患者さんもぜひご相談ください。下記QRコードよりインターネット予約が可能となりました！是非ご利用ください♪

生殖医療センター直通ダイヤル  
06-6692-0311

急性期 不妊

<https://www.gh.opho.jp/org/reprod/>



## 産科・小児科の先生に聞いてみたいアレコレを募集中!!

きらりでは、診察中には聞きにくい素朴なギモンや、子育てに関するウワサの真相など、産科・小児科の先生に聞いてみたい“ちいさなギモン”を大募集しています!! 下記QRコードよりメールにて、みなさんの質問をお待ちしております♪

### ▼応募方法▼

QRコードを読み取り「メール作成画面はこちら」をクリックしていただくと、メールフォームが開きます。件名はそのまま送信ください。個人情報の入力はいりません。

